

**2014 年度  
事業計画実施報告**

**公益財団法人日本野球連盟**

# 2014年度事業計画実施報告

## 1. 総括

2014年度は、都市対抗が第85回、日本選手権が第40回を迎える節目の大会と位置付け、それぞれ2チーム増として記念事業も併せて実施した。都市対抗では、全国各地から52万人の方々に来場いただき、決勝戦では天皇皇后両陛下もご観戦になり、盛大に開催することができた。日本選手権では、第40回記念事業の一環として、共催の大坂市を通じた広報活動や地元小中学生の招待企画、京セラドーム大阪やプロ野球オリックス球団とのタイアップ企画など取り組んだ効果もあり、日本選手権としては過去最多となる18万人の観客動員であった。一方で、両大会の観客動員の約90%はチーム券による入場者である。各出場チームのご尽力に感謝申し上げるとともに、JABAとしては更なるファン層の拡大が今後の課題としてあげられる。2015年度以降、JABAクラブ（一般賛助会員）の主旨のPRと特典内容の一層の充実を図り、会員数の拡大に取り組む方針であり、諸策を講じることとする。

クラブチーム対策としては、ブロック大会の改革や技術研修会の全国展開、運営ガイドラインの制定に取り組んだ。特に運営ガイドラインについては、今後、クラブチームの普及振興策を充実させていく上で基礎となるチーム運営のあり方として周知徹底を図る。

普及振興事業については、加盟団体である少年野球・女子野球各団体を通じた支援策を基本として指導者の育成事業等を実施、また、各都道府県連盟及び各加盟チームを通じた少年野球教室やティーボール教室も展開した。一方で少子化やスポーツの多様化の中にあってJABAだけでなく広く野球関係団体共通の課題として、更なる底辺の拡大があげられる。JABAとしては、2015年度よりチームに属さない小学校低学年児童や幼児等に対する具体的な振興策をスタートさせる方針である。日本ティーボール協会等の協力も得て、まずはJABA組織内に運営や指導要領を構築していくこととした。今後においては、全国展開や他の関係団体と連携した事業の企画も検討する。

最後にJABAの活動を広く多くの方々に知っていただくため、パンフレットを制作した。各地区連盟、各加盟団体、各加盟チームの関係者がまずはJABAの組織のことを知り、そして、各々の生活環境の中でJABAの理解者を増やす活動の一助として活用していただきたい。JABAは、今後も引き続き、一致協力して、野球競技の普及振興と更なる発展に取り組む。

## 2. 本年度の事業内容

### （1）野球競技の普及及び振興に関する基本方針を確立すること

日本野球連盟の基本理念及び活動指針に基づき、野球競技の普及と振興を図るために、各種事業を実施した。

### （2）野球選手の競技力向上を図ること

①野球技術等に関する以下の研究会を実施し、本年度は第39回指導者研修会＆コンディショニングスタッフ研修会においてピッティング研究会が中間報告を行った。

#### ・研究会

競技力向上委員会委員がピッティング・バッティング・守備走塁・フィジカルの4研究会に分かれて参加した。以下、2回開催した。

開催日：7月20日・21日、11月2日・3日

②第31回全日本ジュニア強化合宿・・・（資料参照）

11月21日から4日間、名護市営球場（名護市）で行われ、各地区連盟からの推薦に基づき競技力向上委員会で選考した40名の選手が参加した。

競技力向上委員会委員が指導を担当した。

③各地区連盟等主催クラブチーム所属競技者研修会に対する委員又はサポートスタッフを派遣した。

- |        |           |                        |
|--------|-----------|------------------------|
| ・新潟県開催 | 5月17日・18日 | 参加者54名（講師：横井、坂口（裕）、石井） |
| ・栃木県開催 | 7月13日     | 参加者34名（講師：中島、仲沢、杉浦）    |
| ・奈良県開催 | 10月19日    | 参加者20名（講師：尾形、原）        |
| ・福島県開催 | 10月25日    | 参加者28名（講師：新沼）          |

④各地区連盟等主催新人研修会に対する委員又はサポートスタッフの派遣

競技力向上事業をはじめとする各種イベントに従事する競技力向上委員の活動を補うことを目的としてサポートスタッフを置いた。2014年度は、各地区連盟等主催新人研修会の開催申請はなし。各地区連盟に対し来年度以降における開催促進を要請した。

⑤優秀選手の発掘を目的とする情報収集活動

各地で行われる大会等に競技力向上委員を派遣し、選手に関する情報収集活動を行った。

⑥身体機能基礎調査

競技力向上委員会医科学部会が主体となり、社会人野球選手の身体能力・身体特性を把握することで今後の競技力向上ならびに指導上の指針に役立てることを目的に調査行った。

※本年度は試験的に関東の企業チームに協力依頼した。

- 1) 東芝 2014年12月25日
- 2) JX-ENEOS 2015年 1月20日

(3) 野球競技に関する全国規模の各種国内大会及びその他の競技大会並びに講習会等

【全国規模の各種国内大会の開催】

①第85回都市対抗野球大会・・・(資料参照)

7月18日から12日間、東京ドーム<東京都文京区>で開催された本大会では、「大垣市・西濃運輸」(3年ぶり33回目の出場)が初優勝を飾り、黒獅子旗を獲得した。  
・出場チーム2チーム増(東京・東海)の34チームで大会を行った。

※沖縄野球振興目的としての支援の実施

九州地区連盟では、沖縄における野球競技の振興を目的として本年度の都市対抗九州地区予選を沖縄県で開催した。当連盟としては、初めての離島開催であることを鑑みて、都市対抗予選の沖縄開催を通じて野球振興が図られるよう事業費の一部を支援した。

②第8回全日本中学野球選手権大会(ジャイアンツカップ)

8月8日から5日間、東京ドーム他で開催された本大会では、各少年野球団体から32チームが参加し、「佐倉リトルシニア」が優勝した。

③第39回全日本クラブ野球選手権大会・・・(資料参照)

9月5日から4日間、西武ドーム<所沢市>で開催された本大会では、北関東代表の「茨城ゴールデンゴールズ」(2年連続7回目出場)が3回目の優勝を飾った。

#### ④各クラブカップ大会・・・(資料参照)

クラブカップ大会は、全国を3ブロックに分けて以下のとおり行なわれた。

出場チームは、第39回全日本クラブ野球選手権大会に出場していないチームとし、それぞれ8チームにより大会を行なった。

- ・第7回東日本クラブカップ大会

9月20日から2日間、大館樹海ドーム(大館市)で開催。

TRANSYS(北海道地区)が優勝した。

- ・第7回中日本クラブカップ大会

9月27日から2日間、浜松・磐田城山球場(浜松市、磐田市)で開催。

エディオン愛工大OB BLITZ(東海地区)が優勝した。

- ・第7回西日本クラブカップ大会

9月13日から2日間、北九州・北九州市立大谷球場(北九州市)で開催。

関メディベースボール学院(近畿地区)が優勝した。

#### ⑤第40回記念社会人野球日本選手権大会・・・(資料参照)

11月1日から11日間、京セラドーム大阪(大阪市)で開催された本大会では、

東海地区代表の「トヨタ自動車」(11大会連続14回目の出場)が4度目の優勝を飾り、ダイヤモンド旗を獲得した。

※第40回記念事業として以下の事業を実施した。実施に際しては特定費用準備資金(800万円)を取り崩して事業費に充当した。

- ・出場チーム2チーム増(東北・近畿)の34チームで大会を行った。
- ・40年記念誌の制作(製本120部、デジタルブック1200部)
- ・特集記事の掲載(毎日新聞紙面)
- ・地元地域とのタイアップ行事の実施
- ・大阪市公共機関(地下鉄等)へのポスター等の掲示
- ・大阪市内小中学校生の社会見学としての来場
- ・球場前のイオンとのタイアップ行事
- ・プロ野球オリックス球団とのタイアップ企画の実施
- ・記念イベント(OBによる始球式、注目選手による会見)
- ・表彰(長年協力いただいた団体等に感謝状を贈呈)
- ・連盟・毎日関係者による懇談会の実施

#### ⑥2014年度JABA公式大会・・・(資料参照)

2014年度各JABA公式大会の結果(主要大会のみ)

## 【講習会等の開催】

### ①公式記録員講習会・・・(資料参照)

7月18日から12日間、東京ドームで開催された第85回都市対抗野球大会において、記録員講習の実施研修として各地区連盟から12名が参加し、公式記録を担当した。

### ②第31回全日本ジュニア強化合宿

前項（2）②の通り実施した。

### ③第39回指導者研修会＆コンディショニングスタッフ研修会・・・(資料参照)

1月10日から2日間、熱海後楽園ホテル(熱海市)で行われ、加盟チーム監督、トレーナー等103名が参加した。

### ④日本中学硬式野球指導者講習会・・・(資料参照)

- ・12月20日に、東海地区(羽島市民会館)(羽島市)で行なわれ、日本中学硬式野球協議会所属3団体の指導者333名が参加した。
- ・12月21日に、静岡県(グランシップ会議室)(静岡市)で行なわれ、日本中学硬式野球協議会所属3団体と静岡県中学軟式野球連盟の指導者127名が参加した。
- ・1月24日に、南部九州地区(サンアリーナ会議室)(薩摩川内市)で行なわれ、日本中学硬式野球協議会所属4団体の指導者104名が参加した。
- ・1月25日に北部九州地区(TKPガーデンシティ福岡渡辺通)(福岡市)で行なわれ、日本中学硬式野球協議会所属4団体の指導者144名が参加した。
- ・1月31に関西地区(美原文化会館)(堺市)で行なわれ、日本中学硬式野球協議会所属4団体の指導者346名が参加した。

### ⑤第57回全国審判講習会・・・(資料参照)

2月13日から3日間、JR東日本野球部柏野球場(柏市)に於いて、各地区的審判員57名が参加して行われた。なお、アジア地域の野球振興の一環として、アジア野球連盟と協力し、5カ国・地域(中国、台湾、香港、インドネシア、タイ)から、5名の審判員を受け入れた。

⑥2014年度社会人野球表彰事業

表彰選考委員会において、以下のとおり選考し、決定した。

(ベストナイン) ※年齢は、2014年12月4日時点

位置	氏名	年令	所属	回数
投 手	佐竹 功年	31	トヨタ自動車	初
捕 手	戸柱 恭孝	24	NTT西日本	初
一塁手	金丸 恭平	29	西濃運輸	初
二塁手	小川 信	31	富士重工業	初
三塁手	伊藤 匠	23	西濃運輸	初
遊撃手	倉本 寿彦	23	日本新薬	初
外野手	友永 翔太	23	日本通運	初
	土井 翔平	23	大阪ガス	初
	小島 宏輝	27	トヨタ自動車	初
指名打者	阪本 一成	38	西濃運輸	初

(個人賞) ※成績・・・(資料参照)

賞	氏名	年令	所属	回数
首位打者賞	橋本 駿介	24	JFE西日本	初
最多打点賞	松本 晃	29	JR東日本	初
最多本塁打賞	該当者なし			
最多勝利投手賞	佐竹 功年	31	トヨタ自動車	初
最優秀防御率賞	佐竹 功年	31	トヨタ自動車	初

(表彰式)

期日：12月10日

場所：KKRホテル東京（東京都）

(4) 野球競技に関する各種国際大会、国際親善試合及び国際会議等（日本での開催）

①第24回世界少年野球大会 愛媛大会

世界15カ国・地域から約200名の子供たちが参加、9日間に渡り野球教室や各種交流イベントが行われた。JABAから3名のコーチを派遣した。

期間：7月30日～8月7日

場所：松山市他

②第6回IBAF女子ワールドカップ大会・・・(資料参照)

初戦から決勝まで全て勝利し、金メダルを獲得した。

期 間：9月1日～7日

場 所：宮崎市 サンマリンスタジアム宮崎

成 績：①日本 ②アメリカ ③オーストラリア ④カナダ ⑤台湾 ⑥ベネズエラ  
⑦香港 ⑧オランダ

※大会組織委員会、実行委員会の要請に応じて、大会運営スタッフを選考し派遣、日本女子野球協会を通じて日本代表チーム役員、選手等の選考を行った。また、大会運営費として分担金500万円を拠出した。

(5) 野球競技に関する各種国際大会、国際親善試合及び国際会議等に対する代表役員、選手を選定し派遣した。

①フランス国際野球大会

第85回都市対抗野球大会優勝の西濃運輸を派遣した。

期 間：9月5日～9日

場 所：フランス

成 績：①オランダ ②フランス ③日本 ④ベルギー

②一般財団法人全日本野球協会(以下：BFJ)選手強化本部事業としての派遣

・第8回BFA12Uアジア選手権大会・・・(資料参照)

全日本軟式野球連盟より役員並びに選手を選出し派遣した。

期 間：8月27日～31日

場 所：フィリピン・マニラ

成 績：①台湾 ②日本 ③韓国 ④フィリピン ⑤インドネシア ⑥シンガポール

・第2回IBAF15Uワールドカップ大会・・・(資料参照)

中学硬式野球協議会より日本代表チームの監督、コーチ、関係スタッフ、及び選手の選考を行った。

期 間：7月31日～8月10日

場 所：メキシコ・マサトラン、クリアカン

成 績：①キューバ ②アメリカ ③ベネズエラ ④台湾 ⑤メキシコ ⑥パナマ ⑦日本

8位以降：ブラジル、オーストラリア、アルゼンチン、ドイツ、イタリア、  
チェコ、グアテマラ、ニュージーランド、南アフリカ共和国、香港、リトアニア

・第1回IBAF21Uワールドカップ大会・・・(資料参照)

日本野球機構並びにBFJ及び日本野球連盟より役員並びに選手を選出し派遣した。

期 間：11月7日～16日

場 所：台湾・台中

成 績：①台湾 ②日本 ③韓国 ④ニカラグア ⑤チェコ

⑥オーストラリア ⑦イタリア ⑧ベネズエラ ⑨オランダ ⑩ニュージーランド  
⑪メキシコ

・第17回アジア競技大会・・・(資料参照)

社会人選手24名を派遣。予選リーグを3勝0敗で通過し、決勝リーグでは準決勝で敗れてしまったが、3位決定戦で勝利し、銅メダルを獲得した。

期 間：9月22日～28日

場 所：韓国・仁川

成 績：①韓国 ②台湾 ③日本 ④中国

5位以降：パキスタン・モンゴル・香港・タイ ※順位付なし

③B F J からの要請に応じて国際大会等への代表者等を派遣した。

- ・日本代表チーム監督、コーチ及び関係スタッフ
- ・各大会運営スタッフ（審判員、記録員等）

④中学硬式野球協議会を通じて第2回IBAF15Uワールドカップ大会に出場する日本代表チームの監督、コーチ、関係スタッフ及び選手の選考を行った。

（6）野球競技に関する指導者、審判員及び記録員等を養成すること

①競技力向上委員会を設置し、野球競技に関する指導者の養成を目的とする協議を行った。  
前項（3）に掲げる「第39回指導者研修会＆コンディショニングスタッフ研修会」を実施した。

②規則・審判委員会を設置し、野球競技に関する審判員の養成を目的とする協議を行った。  
前項（3）に掲げる「第57回全国審判講習会」を実施した。また、アジア野球連盟、B F J が実施する審判員養成を目的として行われる事業に協力した。

③記録部会を設置し、野球競技に関する記録員の養成を目的とする協議並びに前項（3）に掲げる「公式記録員講習会」を実施した。また、国際野球連盟、アジア野球連盟、B F J が実施する記録員養成を目的として行われる事業に協力した。

④各地方審判講習会に対する指導員（インストラクター）派遣事業・・・（資料参照）

各地区連盟及び各加盟団体がB F J によるインストラクター制度によりインストラクターの派遣を受ける場合、派遣に係る費用の一部を日本野球連盟が負担した。  
2014年度は16件（愛知大学・千葉・東北・茨城・習志野市・北信越・秋田・埼玉・全日本少年硬式（2件）・ジャイアンツカップ・新潟・宮崎スポーツ振興会・日本リトルシニア中学硬式・九州・東海）から申請があり、それぞれ委員を派遣した。

（7）野球競技に関する競技規則

規則・審判委員会を設置し、競技規則に関する協議並びに前項（3）の「第57回全国審判講習会」を実施した。またB F J に代表者を派遣し、野球競技規則制定に関する協議に参画した。

（8）野球競技の競技施設、用器具等の指導及び公認に関すること

①B F J に委員を派遣し、競技施設、用器具等の指導及び公認に関する協議に参画。

②社会人野球で使用できるバットについては、日本野球連盟（社会人野球）内規に定めた。

③2014年度における社会人野球の公式戦で使用するボールは以下に掲げる「JABA公認ボール店」11社とした。

イソノ運動具店、ミズノ、久保田運動具店、松勘工業、エスエスケイ、ゼット、アシックスジャパン、一光スポーツ、ハイゴールド、サンアップ、大阪ホーマー

④製品安全協会に委員を派遣し、野球競技の用器具に関する協議に参画した。

- (9) 国外へのチーム派遣及び外国チームの招聘に関する事、並びに国際交流を通じて野球競技の国際的な普及・振興に寄与すること  
①国外へのチーム派遣及び外国チームの招聘を行う場合、B F Jと連携を図り、実施した。  
②アジア野球連盟加盟国をはじめ、諸外国からの協力要請がある場合、B F Jとの連携を図り、指導者や審判員、記録員、選手等の各種研修活動に協力した。  
③審判講習会においては、アジア野球連盟加盟国からの参加者を受け入れた。  
④アジア野球連盟加盟国をはじめ諸外国における野球競技の普及活動に対し、要請に応じて用具等の支援や指導者の派遣を行った。
- (10) (公財)日本体育協会及びB F Jへの加盟並びにそれらの事業に協力すること日本体育協会及びB F Jに各々代表者を選出した。  
また、加盟団体として必要とされる事業協力を行った。
- (11) B F Jを通じた国際野球連盟、アジア野球連盟及び(公財)日本オリンピック委員会の事業に協力した。  
①B F Jに代表者を派遣し、同連盟を通じて以下に掲げる団体の事業に参画した。  
日本野球機構、IBAF、BFA、JOC、JADA等への協力。  
②B F Jにおける選手強化本部事業のうち、以下に掲げるカテゴリーの日本代表チームに関する編成業務について協力した。  
・女子日本代表  
・15U日本代表（硬式）  
・12U日本代表（硬式）
- (12) 野球競技に関する刊行物  
①「公益財団法人日本野球連盟 連盟報」（2014年版）の発行  
②2014年版「公認 野球規則」の発行に対して協力した  
③「JABAニュース」の発行  
④社会人野球ガイドブック「グランドスラム」（小学館刊行）に対する制作協力  
⑤「日本野球連盟の公式記録完全マニュアル」の販売
- (13) 本条に定める事業の遂行に必要な財源調達を図るための事業  
公益事業で掲げた野球大会のグッズ、野球に関する書籍等の販売を行った。

(14) その他目的を達成するために必要な事業

①加盟団体研修事業に対する補助金の支給

各地域における野球競技の普及振興を図るために、各加盟団体の行う研修事業等に対する助成を行った。

②野球競技普及振興助成金

JABA加盟団体等が実施する野球振興事業に対し「野球競技普及振興助成金」として一部事業費を負担した。

・普及振興事業全国一斉実施（8月）30件

・ティーボール普及活動28件・・・（資料参照）

③JABA登録システムの再構築

JABA、各地区連盟、各都道府県連盟における加盟登録並びに負担金等の納入及び各種大会出場にかかる事務手続きに関する業務効率の向上を図るために、現行システムを一部改善し、新システムを構築した。

④東日本大震災野球復興事業

東北地区連盟との協議により各地区連盟、各都道府県連盟、各加盟チーム等が実施する東日本大震災野球復興事業を支援した。

⑤2014年プロ球団との交流試合の実施・・・（資料参照）

⑥NPO法人アオダモ資源育成の会への参画

アオダモ資源育成の会に委員を派遣。

⑦国内独立リーグとの交流試合

国内独立リーグの球団との交流試合は協定書に基づいて実施した。

⑧連盟概要に関する情報公開並びに広報活動の充実化を目的として、公式ホームページを運営。

⑨野球競技の普及振興策協議のため、加盟団体代表者との懇談会の開催

⑩日本中学硬式野球協議会への参画

⑪公益財団法人野球殿堂博物館への協力

⑫公益財団法人スポーツ安全協会への協力

### 3. その他報告事項

- (1) 2014年度加盟チーム数の推移・・・(資料参照)
- (2) 2014年度加盟チーム数及び登録者数・・・(資料参照)
- (3) 2014年度一般賛助会員数( JABAクラブ) ・・・(資料参照)
- (4) 2014年度会議開催状況

#### ① 評議員会

第1回定期評議員会	5月14日	サピアタワー関西大学会議室
第1回臨時評議員会	11月28日	書面にて開催
第2回臨時評議員会	2月18日	東京ドームホテル

#### ② 理事会

第1回定期理事会	4月22日	ジャパンベースボールセンター会議室
第1回臨時理事会	7月17日	東京ドームホテル
第2回臨時理事会	11月 1日	京セラドーム大阪
第3回臨時理事会	12月10日	KKRホテル東京
第2回定期理事会	2月 3日	ジャパンベースボールセンター会議室

#### ③ 業務執行会議

第1回業務執行会議	4月15日	ジャパンベースボールセンター会議室
第2回業務執行会議	7月10日	ジャパンベースボールセンター会議室
第3回業務執行会議	10月24日	ジャパンベースボールセンター会議室
第4回業務執行会議	12月 3日	ジャパンベースボールセンター会議室
第5回業務執行会議	1月28日	ジャパンベースボールセンター会議室

#### ④ 各委員会

事業企画委員会	4月22日 10月 3日 12月18日	ジャパンベースボールセンター会議室 ジャパンベースボールセンター会議室 ジャパンベースボールセンター会議室
地域活性化委員会	5月13日 10月20日 1月15日	ジャパンベースボールセンター会議室 ジャパンベースボールセンター会議室 ジャパンベースボールセンター会議室
事業運営地域部会	12月 9日	ジャパンベースボールセンター会議室
競技力向上委員会	5月15日 6月11日 7月20・21日	ジャパンベースボールセンター会議室 ジャパンベースボールセンター会議室 東京ドーム
規則・審判委員会	11月2・3日 1月10日	京セラドーム大阪 熱海後楽園ホテル
規則・審判地域部会	4月17日 10月 8日 1月16日 11月 3日	ジャパンベースボールセンター会議室 ジャパンベースボールセンター会議室 ジャパンベースボールセンター会議室 京セラドーム大阪

公式記録部会	11月 3日	京セラドーム大阪
コンプライアンス委員会	5月 14日	ジャパンベースボールセンター会議室
クラブチーム対策委員会	6月 30日	ジャパンベースボールセンター会議室
	9月 6日	西武ドーム
	1月 21日	ジャパンベースボールセンター会議室
⑤地区連盟会長会議	7月 19日	東京ドーム
⑥加盟地方団体事務担当者会議	2月 20日	東京ドームホテル

#### (5) 2014年度 慶弔及び事務局人事

##### ① 表 彰

第64回日本スポーツ賞（主催：読売新聞社）において、第85回都市対抗野球大会で初優勝した「大垣市・西濃運輸」に2014年度競技団体別最優秀賞が贈られた。

##### ② 逝 去

2014年 5月 16日	鈴木 淳	(新潟県野球連盟 顧問)
2014年 7月 3日	渡邊 学	(東北地区野球連盟 会長)
2014年 11月 14日	秦野 譲二	(元評議員 山口県)

##### ③ 事務局人事

2014年 3月 31日 退職 柴田 穂（全日本野球協会へ転籍）